

微小生物の維持管理と学校への配付方法について

1 提供する微小生物の種類

ゾウリムシ ミドリムシ ミカヅキモ ボルボックス クンショウモ クロロゴニウム

2 微小生物の維持管理方法

- ・共通 : 培養ビンのふたをゆるめて空気が出入りするようにします。
温度変化の激しい場所は避けてください。
- ・ゾウリムシ : 薄暗い場所に置いてください。
- ・ミドリムシ、ミカヅキモ、ボルボックス、クンショウモ、クロロゴニウム
: 直射日光の当たらない窓際に置く。

※ゾウリムシ以外は光合成を行うので、光を与えないと衰退し、2週間ほどで消滅することがあります。ボルボックスは衰退が早いのですが、一度衰退しても数週間後には再び増殖する場合がありますので、捨てないで増殖するのを待ってみてください。

3 学校への配付方法

(1) 微小生物を入れる密閉容器（フィルムケース等）を学校から持参してもらってください。

(2) 必ず培養ビンに付属した専用のピペットを使い、1種類ごとに別々の容器に移します。

※2種類以上を同じピペットで移動すると、微小生物が混合して衰退を早めてしまいます。

※種類により培養ビンの中での生息場所が異なるので、多数いる場所をピペットで吸い取ります。

ゾウリムシ：液面に近い、上方にたくさんいる。

ミドリムシ：緑色に見える所ならどこにでもいる。

ミカヅキモ：底土の上に付着している。緑色の細かい毛のように見える。

ボルボックス：光の方に集まる。肉眼で存在がわかるので、たくさんいる所を選ぶ。

クンショウモ：培養ビンの底の緑色に見える部分に付着している。ピペットで底を吸い取る。

クロロゴニウム：緑色に見える所ならどこにでもいる。